

# No.7 ハンドボール

Japan  
Handball  
Association



- 社会人
- 学生
- 高専
- 高体連
- 中体連
- 小学生
- 県協会

- 全国大会
- ブロック大会
- 都道府県大会
- 地区大会

- 男子
- 女子

試合番号 **山鹿-男41**

年月日 2019年 8月 7日 (水)  
大会名 令和元年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会

## 公式記録用紙

A	県立香川中央高等学校										神戸国際大学附属高等学校										B		
都道府県		市町村		会場		会場		会場		会場		会場		会場		会場		会場		会場		会場	
熊本県		山鹿市		山鹿市総合体育館		山鹿市総合体育館		山鹿市総合体育館		山鹿市総合体育館		山鹿市総合体育館		山鹿市総合体育館		山鹿市総合体育館		山鹿市総合体育館		山鹿市総合体育館		山鹿市総合体育館	
前半	A	B	最終結果	A	B	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7m追加プレイ	A	B	準々決勝		A	B					
	12	10		26	25																		
7m得点/総数	A		チームタイムアウト			チームタイムアウト			B		7m得点/総数												
	0/0		1	2 後半	3	1	2 後半	3	1/1		1/1												
			2412	2911		1708	2500																

No.	県立香川中央高等学校	G	W	2'	2'	D	DR	No.	神戸国際大学附属高等学校	G	W	2'	2'	D	DR
1	大道 滉平							1	西田 優琉						
2	山下 夏輝	1		1				2 C	池添 奏太	4					
3	中村 華規							3	土佐 竜真	6					
4 C	田井 健志	3		1	1			4	田中 翔太						
5	高尾 将吾	5						5	末廣 将己						
6	植田 季貴							6	露無 優稀	2					
7	木太 隆雅	9						7	植村 和輝	3					
8	谷 貴文	6						8	外池 郭人						
9	三野 凌誠							9	荒瀬 廉	2					
10	大須賀 麟汰郎	2		1				10	渡辺 大地						
11	白井 祐登							11	中村 権一	4		1			
12	黒川 廉							12	上野 俊哉						
13	柳生 永遠							13	竹内 稜平	4					
14	小田 航平							20	森 拓磨						
役員A	田中 潤							役員A	向井 勝二						
役員B	藤澤 光輝							役員B	市原 太基						
役員C	金子 雄太郎							役員C	高橋 裕稀						
役員D								役員D							

A	田中 潤	チーム役員A署名	向井 勝二	B
---	------	----------	-------	---

レフェリー	小田 健介	鈴木 孝明	小田 健介	鈴木 孝明
TD	永守 浩之	稲津 憲二	永守 浩之	稲津 憲二
MO	疋田 雅己		疋田 雅己	

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入



令和元年度全国高等学校総合体育大会  
高松宮記念杯第70回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

## 戦評

開催日	2019年 8月 7日 水曜
会場	山鹿市総合体育館
種別	男子
回戦	準々決勝戦

	チーム名	総得点	前半	総得点	チーム名
スコア	香川中央	26	12-10	25	神戸国際
			後半		
			14-15		
	第1延長		第2延長		7MC
	—		—		—
	—		—		—

※第1延長・第2延長及び7MCの得点は総得点に加算してください。

	戦評
前半	<p>香川中央のスローオフ。神戸国際GK西田の好セーブから池添の速攻で先制。香川中央も谷の連続ミドルシュートで応戦。お互い激しいディフェンスの中での攻防。神戸国際は香川中央の速攻に、素早い戻りで荒瀬がチャージを奪いマイボールへ。香川中央は退場者を出すも持ち前のフットワークで粘り、失点をしない。一進一退の攻防がづき11分経過して4-4の同点。膠着状態から香川中央田井のカットイン、木太の速攻で6-4と抜け出す。GK大道はサイドからのループシュートに反応する好セーブ。神戸はディフェンスラインを9mエリアに集中させ、守りを堅める。お互い2得点したところで香川中央のタイムアウト。この後香川中央木太のカットインが決まり9-3の3点差とする。残り5分、神戸国際は土佐の絶妙なサイドシュートやパワープレー中に加点し追撃。27分で10-10の同点。残り2分は、香川中央GK大道の好セーブや田井のカットイン、高尾の速攻で2連続得点し、12-10で香川中央がリードし折り返す。</p>
後半	<p>後半は、1秒の大切さや1点を争う非常にスリリングな30分だった。序盤の10分は、神戸国際竹内がミドル・カットインシュートで4得点を挙げ6得点、香川中央は退場者を出すも、高尾と木太が連続パスカットによる得点を上げるなど6得点で互角の展開。中盤は、神戸国際ウイング土佐らの速攻で4得点、香川中央は谷と木太で5得点。10分を残し3点差。神戸国際が残り5分22-25でタイムアウト。試合再開後、香川中央が退場者を出すと神戸国際が怒涛の追撃、土佐や露無の得点で25-26の1点差へ。残り50秒で香川中央がタイムアウト。この攻撃が得点にならず、神戸国際の速攻、ノータイムフリースローでは厚い壁をつくり、猛攻をしのぎ、26-25の1点差で勝利した。見応え十分の好ゲームであった。</p>

記入者	野口 浩司
-----	-------